



広島県委託事業 退所児童等アフターケア事業所「カモミール」主催

上映会 こども食堂にて

映画「わたし、生きてていいのかな」続編 こども食堂を舞台に繰りひろげられる、愛に溢れる親子のものがたり。



こどもたちが、
幸せになりますように。

10/14 月

エフピコ RiM9階
スタジオ A

13:00 ▶ 15:15 上映会 ※上映会のみも可

15:30 ▶ 16:20 ワークショップ
「映画を見て感じたこと」を語り合う

対象： 児童養護施設や里親家庭等の出身者、
子どもや親を支援する職員、
学校関係者、
その他関心のある方どなたでも

「こども食堂」でボランティアを始める千晶(ちあき)、彼女は、親の虐待から立ち直った過去があった。
「こども食堂」で、様々な事情を抱える子どもたちと出会う。その中に、里親の元で暮らす少年がいた。
千晶は何を思い、どう行動するのか…



参加無料

定員 70名(先着順)



お問い合わせ

退所児童等アフターケア事業所
「カモミール」

TEL 084-959-3278

登場人物が皆、 一生懸命生き、 愛に溢れている…

「こども食堂」は、地域の子どもたちを見守る場…
そこには、何らかの事情を持つ子どもたちが来ることもある。
こども食堂を舞台に、児童虐待、里親など、
その環境の中で育つ子どもたち…
懸命に生きる母親たち…
子どもたちを支えようとする大人たちを描く。
前作映画『わたし、生きてていいのかな』（2016年）に続き、
映画製作チーム・Sunshine が贈る、
社会的養護をテーマに描いた映画、第2弾。
更に、ひとつの大きなテーマとして、
里親を取り上げます。



この映画が、
見る人にとって、
何かの気づきになって
もらえればと思います。
(監督 佐野翔音)

【ストーリー】「こども食堂」でボランティアを始める千晶（ちあき）。彼女は親の虐待から立ち直った過去があった。今や「こども食堂」は、単なる貧困家庭や孤食の子に食事を提供するだけでなく、子どもと地域・社会を結び付ける重要な場としての役割が求められている。千晶の目には、夕食を食べに来る何らかの事情を抱えた子どもたちの姿が映った。腕に痣がある小学生。児童養護施設に入っていたことを笑顔で話す中学生、子育てに苦悩するシングルマザーもいた。千晶は、子どもたちに優しく声をかけ、自分の体験したことを話す。何が自分にできるのかと、もがきながら。ある日、千晶は里親のもとで暮らす一人の高校生の悩みを聞く。生みの親が見つかった、会いたいという。そんな少年に千晶は言葉をかける…少年は、どう行動するのか…千晶自身には、縁を切ったつもりの父親が行方不明との連絡が入り、心は揺れる…



主催団体「カモミール」について

カモミールは、児童養護施設や里親さんのもとで育った方が、社会へ巣立ったあとも安心して生活できるようサポートする場所です。同じ立場の方同士が交流できる場を提供したり、個別の相談を受けたりしています。退所した後だけでなく、退所する前のサポートとしてセミナーなども行っています。映画を通して社会的養護への理解が深まり、多様な背景を持つ方々が生きやすい社会になることを願っています。



退所児童等アフターケア事業所「カモミール」
TEL 084-959-3278
広島県福山市西町1-1-1 エフビコRiM9階
<https://hiroshima-chamomile.jp/>

上映会 13:00 ~ 15:15 (受付開始 12:30)

ワークショップ 15:30 ~ 16:20

参加申込書 (〆切 10/10)

※ 受付完了のお知らせが届かない場合、直接ご連絡をお願いします。

お名前		フリガナ	
参加人数	人	所属	
参加内容	<input type="checkbox"/> 上映会のみ <input type="checkbox"/> 上映会とワークショップの両方		
連絡先			

FAX 084-971-7035